

第11回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2016.1.8 空田 さやか

日本イーライリリー(株)

『持効型 GLP-1 受容体作動薬/トルリシティ』

日本イーライリリー(株) 村上さん

場所: コンパス薬局

参加者: 内科 沢先生、内科職員さん、熊山、空田

最近、多種多様な患者背景に沿った注射剤が開発されている。今回は、ビクトーザに続き 2015 年 9 月に発売された GLP-1 作動薬にもつ注射剤を紹介する。

〈効果・効能〉

2 型糖尿病

同効注射剤のビクトーザ（1 日 1 回投与）と同等の効果が得られると考えられている

〈用法〉

患者のライフスタイルに合わせて、毎週同じ曜日に投与

何時でも投与可能

※投与を忘れた時：次の投与日まで 72 時間未満の場合、忘れた分はとばし次の投与日に再開

〈特徴〉

デバイス：アテオス

・ 1 回使い切り

・ 針の取り付け、薬剤の混和不要、空打ち不要、ボタンを押すと自動的に注入

〈副作用〉

低血糖、悪心、便秘、急性膵炎、腸閉塞

●日本イーライリリー(株)の取り組み

トルリシティの他ヒューマログ注、N注、25/50 ミックス注、インスリングルルギン注を製造販売している同社は、注射剤の種類を色による識別を行い、取り違いを防ぐ対策を立てている。

〈考察〉

生活環境によりコンプライアンスを維持するのが困難な患者さんにとって、トルリシテ
ィのような週1回だけの投与という用法は非常に有益であると考えられる。

ただし、週一回投与は逆に習慣化しにくいという声もあり、カレンダーへの記載を勧める
等来局ごとにコンプライアンスを確認していく必要がある。また、副作用として悪心が現
れる可能性があるが、投与開始早期に多くその後消失する傾向にあるというデータを説明
し、継続の手助けしていきたい。